



## 麻薬モルヒネの功績

客員 相談役 藤井 基之

私の政策目標の柱の一つは、麻薬・覚せい剤など薬物乱用の撲滅です。今から一七〇年ほど前、当時の清国(中国)と英国の間で阿片戦争がありました。この戦争は英国が清国に大量に輸出したアヘンが発端となりました。清国はこの戦争に敗退するとともに多くのアヘン中毒患者が生まれ、清国は次第に国力を弱め、日清戦争を経て滅亡へと向かいました。まさに亡国のドラッグです。日本でも太平洋戦争直後の昭和二十年代、軍部保有のモルヒネなどの麻薬が流出し、横浜や神戸などの街に麻薬中毒者が溢れて大きな社会問題となった時代がありました。今日でも、時々名の知れた歌手が覚せい剤所持で摘発されるなど、覚せい剤や新しい合成麻薬、その他の薬物が若者の間で密かに乱用され、第三次薬物乱用期にあるといわれています。

しかし、考えて見ますと、麻薬にしても覚せい剤にしても、薬物そのものが悪いのではなく、人間の側のそれら薬物の使い方に関する問題があり、薬物乱用という社会悪が生まれてしまっているわけです。

麻薬の中で最も有名なのはモルヒネです。このモルヒ

ネは、現在でも末期がんの疼痛緩和医療に不可欠な最も重要な薬物の一つです。モルヒネは、バベル・ソムニウムから生産される麻薬です。アヘンの強力な鎮痛作用は古代エジプトやギリシャでも既に知られており、ヒポクラテスも使用していたという記録がありますが、今でもモルヒネを上回る鎮痛効果を持つ医薬品はありません。

アヘンの薬効の本体はなんだろうかという研究は、永年に行われて行われてきましたが、今から二〇〇年前、ドイツのフリードリヒ・W・ゼルツナーという薬剤師が、アヘンからモルヒネを初めて分離、抽出することに成功しました。彼は、この物質をモルヒネ(Morphine)と名づけましたが、この名前はギリシャ神話に出てくるモルペウス(Morpheus)という「夢の神」の名に因んだものだそうです。モルペウスはギリシャ神話の「変身物語」に出てくる神で、夢や空想にイメージを送り、夢を形作ったり、夢に宿るものたちに形を与えたりするという特別な力を持っているのだそうです。そんな神話からモルヒネと名付けられたのだそうです。

が、それはさておき、ゼルツナーのアヘンからのモルヒネの分離、抽出成功は、近代薬学の始まりといっているのか研究が続けられ、一九二五年にはイギリスのロバート・ロビンソンという学者が化学構造式を解明し、ついに米国のマーシャル・ゲイツという学者が人間の手でモルヒネを初めて合成することに成功します。

このモルヒネの分離抽出をきっかけに、多くの化学者たちが薬効を持つ様々な植物、動物臓器や鉱物などから有効成分を単離、精製して、その化学構造を明らかにするという研究に没頭しました。その結果、次々と重要な薬効成分が発見され、そしてその化学構造式が決定され、さらにはその過程で多くの有機化学反応が見い出され、

有機合成化学は大きく進歩してきました。現在の医療で使用されている治療薬の多くは合成医薬品ですが、ほとんどは植物などの天然物から抽出された薬効成分の構造を化学的に一部変えたり、あるいはそうした成分をモデルにして新たにドラッグデザインすることにより創り出されたものです。

すなわち、麻薬といふ何か怖い感じがするのですが、モルヒネの研究が薬物医療の発展に果たした役割の大きさは量りしれないものがあります。人間は科学技術の進歩により、画期的な多くの発明、発見をなしてきました。ダイナマイトを発明したノーベルではありませんが、それを悪魔の発明とするか、それとも人類の幸福、発展のための発明とするか、それは人間の英知にかかっているのです。

昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟副会長  
社団法人 日本薬剤師会常務理事  
平成13年 参議院議員  
平成16年 厚生労働大臣政務官 (平成16年9月~平成17年11月)

ふじい もとゆき  
藤井 基之

■生年月日 昭和22年3月16日  
■選挙区 参議院比例区  
■当選回数 1回  
■出生地 岡山県岡山市  
■趣味 音楽・読書  
■個人ホームページ  
<http://www.mfujii.gr.jp/>

■その他 薬学博士・薬剤師

■私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

■活動報告

参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

■経歴

昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟副会長  
社団法人 日本薬剤師会常務理事  
平成13年 参議院議員  
平成16年 厚生労働大臣政務官 (平成16年9月~平成17年11月)

■党・県連関係役職

自民党厚生関係団体、労働関係団体副委員長  
自民党新聞局次長  
自民党医療基本問題調査会、薬事行政のあり方検討小委員会事務局長

■その他役職

昭和大学薬学部 客員教授  
共立薬科大学 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師  
京都薬科大学 客員教授  
日本薬剤師連盟 相談役